

阪南中学校だより

NO. 1

令和7年4月17日（木）

発行：大阪市立阪南中学校長 中西 洋

多様な新しい学びと安心を

「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が次期の教育振興基本計画に掲げられ、将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自ら社会の創り手となる人材の育成と多様な個人それが幸せや生きがいを感じる教育の在り方が課題とされています。これまで文部科学省の推進する令和の日本型学校教育の構築に示される、すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適化の学びと協働的な学びの実現に向けて、阪南中学校ではこれまで取り組んだ新しい学びを、新たな課題も視野に加え、昨年度取り組むことのできた様々な施策について、継続して本年度も続けていきたいと考えています。

具体的には、これまで教科を中心に授業の中で取り組んだ主体的で対話的な深い学びの実践を、生徒自らが課題を見つけ、その課題を解決するために意見を出し合い、協力して答えを創造する『探求』と呼ばれる学びの実践に取り組を進めたいと考えています。また、昨年度から準備を続けていました総合読解力育成カリキュラムの実践にも本格的に取り組みを進めます。そして、オンラインによる授業の配信についても、自宅あるいは別室でのオンライン視聴による学習支援は継続したいと考えています。加えまして、本年度より、地域の皆様・PTAの支援を受けて、校内に、生徒が色々話をしたり、相談することができる、放課後の生徒の居場所づくり（サードプレイス活動）にも取り組みます。これまで以上に生徒が安心して学び・活動できる阪南中学校になっていくことを期待しています。

重ねて、教職員の働き方の見直しについても、電話の受付時間や学期末懇談時間、家庭訪問時間等の制限（17時まで）やミマモルメの活用について、保護者の皆様にご協力をいただきました。本年度も、各種行事の精選、部活動指導員の活用推進等により、教職員の負担軽減に、継続して取り組みます。

昭和100年、戦後80年、そして、2025大阪・関西万博が開催されるその年に、生徒の未来に向かうより良い力を育むことのできる阪南中学校として、様々な課題を一つひとつクリアしていきたいと考えています。

最後に本年度も、4月24日（木）からの家庭訪問、5月14日（水）からの3年生修学旅行、5月21日（水）の2年生の校外学習、6月5日（木）の授業参観も準備を進めています。学年・学期の初めでもあり、お子様のことでご心配なこと等、ご相談があるときは、どうぞご連絡（TEL6622-0005）をお願いいたします。

あらためまして、保護者の皆様には、本年度も本校教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。